《 競 技 方 法 及 び 規 則 》

○ 軟式野球の部

１． 競技規則

（１）「2026年度公認野球規則」及び競技者必携の学童に関する事項ならびに特別規則を適用する。
※ **一日の最大投球数は70球とする。（小学4年生以下は60球）**

（２）試合球は、(公財)全日本軟式野球連盟公認球ナガセケンコーボールＪ号とし、バット、マスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、ファウルカップは全日本軟式野球連盟（ＪＳＢＢ）公認の物とする。

２． 参加資格

（１）小学6年生までの児童で、硬式ボール及びKボールを使用している団体に登録している選手は、認めない。

（２）ベンチには、監督、コーチを含む登録選手(20名以内)、責任者、スコアラー、マネージャー以外の者は入れない。

３． 大会規定及び申し合わせ事項

（１）参加チームは、試合開始予定1時間前までに到着し、大会本部にて受付を行うこと。

（２）第1試合のチームは、試合開始予定時刻の30分前にメンバー表3部（学年明記）と**試合球3球**を本部に提出し、主将のジャンケンにて攻守を決める。なお、第2試合以降のチームは、試合予定時刻の1時間前までに会場到着し、前試合の4回終了時にメンバー表3部（学年明記）と**試合球3球**を本部に提出すること。

（３）試合は6回戦とし、試合時間は80分として、75分を過ぎて新しいイニングに入らない。ただし、3日目以降は試合時間を90分として、85分を過ぎて新しいイニングに入らない。なお、後攻のチームが勝っていて攻撃中の場合、その時点で攻撃を打ち切るものとする。同点の場合は新しいイニングに入らないでタイブレーク方式（１回）で勝敗を決する。さらに同点の場合には、抽選とする。なお、決勝戦の場合は、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。

（４）コールドゲームは、5回以降7点以上得点差があった場合に適用する。

（５）シートノックは原則5分間とし、ノッカーは、必ず選手と同一のユニフォームを着用すること。

（６）暗黒及び降雨などで試合が途中で中止になった場合は、5回以降試合成立とする。なお、試合が不成立の場合、再試合は1回戦から改めて行う。

（７）抗議権は、監督及び主将とする。

（８）ベンチは、組合せ番号の若い方が1塁側とする。

（９）出場チームは、必ずユニフォームを着用し、背番号を付けること。（監督、コーチも同じ）

(10) 打者・走者はヘルメット、捕手は守備時のヘルメット、プロテクター、レガース、ファウルカップを必ず着用すること。（投球練習時の控え捕手もマスク、プロテクターを着用）
次打者・ランナー・ベースコーチもヘルメットを着用すること。

(11) 審判については、以下のとおりとする。

① 球審は、全て主催者が行う。なお、最終日の審判は全て主催者が行う。

② ボール出しについては対戦チームで行い、スコアについては大会本部が行う。

③ 第１日目・第２日目・第３日目　帯同審判
[2試合の場合]
第１試合　第２試合から各チーム２名
第２試合　第１試合から各チーム２名
[3試合の場合]
第１試合　第３試合から各チーム２名
第２試合　第１試合から各チーム２名
第３試合　第２試合から各チーム２名

第４日目　主催者

(12) 試合球は、各チーム3個持参し、それを使用すること。